

# 安全、環境配慮の部品

(株)ファインステイール  
エンジンアリング

社長 今泉 敏明



創立80周年、誠におめでとうございます。

これだけの長い間、日

本の農業と農業機械の発展に寄与されてきた新農林社様の功績は、誠に大きいものがあり、敬意を表します。

新農林社様が創立された昭和8年は、世界恐慌の影響から、繊維製品を欧米に売って生計を立てていた当時の脆弱な日本

の経済は深刻な不況下にあり、農家は度重なる冷害にも襲われ、悲惨なあり様でした。そのうえ、わが国は満州国の処遇をめぐり国際連盟を脱退、その後は盧溝橋事件から太平洋戦争へと軍靴の足音に蹂躪されるという大変な時代でした。

そんな時代背景の中、日本の食料事情を何とかしなければという思いから、農業の重要性を見抜き、一貫して農業の機械化、あるいは農業機械の発展を新聞という情報媒体を通じて発信し、リードしてこられた進取の気概は尊敬に値します。

日本は、敗戦の傷跡も癒えぬ戦後の廃墟のなかから、世界が驚く経済発展を遂げました。わが国の農業も、機械化による生産性の向上から、食糧事情も大きく改善され、隔世の感があります。

さて、世界は21世紀に入り、世界経済の動向は、ますますグローバル化が進み、世界各国は二国間あるいは一定地域毎の自由貿易協定の枠組がますます拡大する状況となっております。資源のないわが国を論じるだけでなく、世界の貿易、経済が公平に発展していくためにもこの潮流は抗えないと思います。

わが国もTPPに参加を表明、日本の農業は戦々恐々です。しかしただ悲観するのではなく、品質の高い日本の農業製品を求めている海外、特に年々増加するアジアの富裕層の需要は想像以上に大きく、今こそ日本の高い技術力を農業分野にも発揮し、飛躍のチャンスと捉えるべきと考えます。

このような経済環境のなか、これから我が社がやるべきことは、部品づくりのイノベーションを提案する企業として新素材、新技術あるいは世界最適調達をアピールするという当社のポリシーを積極的に展開し、軽量化、低振動化を図り、安全で環境に配慮した部品を開発していくことで、より価値の高い農業機械の発展に貢献していきたいと思っております。